



消防団通信

第13号
発行：令和4年12月
胎内市消防団予防部

発行責任元 胎内市総務課防災対策係 Tel 0254-43-6111(内線 1311)



(三市北蒲原地区支会操法競技会)



(土のう作成)



(方面隊規律訓練)

【主な活動内容】

- 令和4年度は、コロナウイルス感染症の影響による近隣市町の状況を踏まえ、市ポンプ操法競技大会、秋季総合演習等中止といたしました。(代替訓練として、各方面隊で6月に放水訓練、10月に規律訓練を実施。)
- 7月3日に三市北蒲原地区支会操法競技会が、審査員が各市町競技会場へ移動し開催されました。4市町による競技会で、胎内市消防団は、ポンプ車の部で2位、小型ポンプの部で3位の成績を収め、1名が個人賞を受賞しました。また、同日、競技会に参加しない団員は、各方面隊で規律・実践訓練を実施しました。
- 8月3日、4日にかけての県北豪雨の際、地区からの要望に対処するための市で保管する「土のう」が不足したことから、4日早朝より団員36名が参加し、約500体「土のう」を作成。また、今後の水害に対処するため、8月16日には団員16名が参加し、市職員と共に約800体「土のう」を作成しました。

令和4年1月から11月末までの消防団員火災出動件数2件（昨年4県）



胎内市消防団長
宮嶋 等

市民の皆様には、日ごろから消防団活動にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今年度も、令和三年度に引き続き、コロナウイルス感染症拡大防止のため、計画していた行事の一部を中止し、代替の訓練として各方面隊で会場を設定し放水訓練等を実施しました。

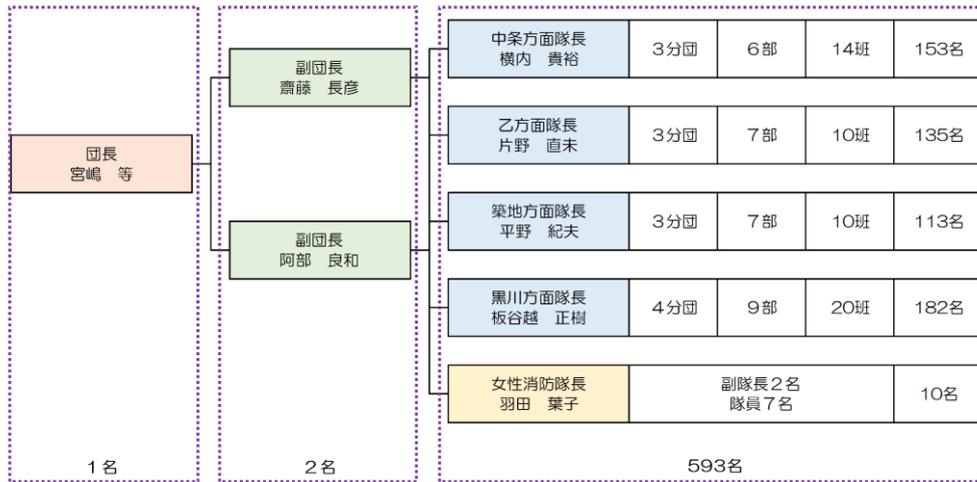
また、ポンプ操法競技会については、市・県が中止、三市北蒲原地区支会が開催され、ポンプ車の部・小型ポンプの部各一チームが出場しました。

水防団としての活動では、八月三日、四日の県北豪雨で地区の浸水箇所「土のう」配置、要望があった箇所へ運搬する「土のう」作成を行い、被害の拡大防止に協力しました。

今年の一月から十一月末日までの消防団火災出動件数は二件で、昨年より二件の減となっておりますが、これからの季節は暖房器具を使用する機会が増えますので、火の取扱いには十分注意していただきたいと思います。

今後とも実際の火災を想定した実践訓練や浸水被害を想定した水防訓練など各種訓練や火災予防等に努め、市民の皆様の安全と安心に寄与できるように取り組んでまいりますので、引き続き、消防団活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。

消防団構成（R4. 4. 1 現在）



階級別団員数	
団長	1名
副団長	2名
方面隊長	4名
分団長	13名
副分団長・女性隊長	14名
部長・女性副隊長	31名
班長	54名
団員	481名
計	600名
消防団員定数	650名

令和4年度に実施した消防団の処遇改善

- 組織再編（統合） 5方面隊 18分団 49部 → 4方面隊 13分団 29部
- 定数の見直し 基本団員 660名・機能別団員 20名 → 基本団員 630名・機能別団員 20名
- 報酬の見直し 全階級において年額報酬増額

階級	令和3年度	令和4年度	増額
団長	120,000円	123,000円	3,000円
副団長	79,000円	80,000円	1,000円
分団長	51,400円	59,000円	7,600円
副分団長	45,200円	46,000円	800円
部長	34,000円	38,000円	4,000円
班長	24,100円	27,000円	2,900円
団員	20,000円	23,000円	3,000円

- 団員の負担軽減 小型動力消防ポンプ積み降ろし装置付き積載車の導入

